

わ せ だ ゆ き 早稲田夕季のひまわり通信

2006年7月 No.9

2年目がスタート。景観とまちづくり、教育の充実に取り組んでいます！

6月定例会・本会議での一般質問や活動報告です



行政は世界遺産登録に向けたまちづくりのビジョンをもっと具体的に打ち出し、住民が理解し積極的に取り組む仕組みや体制づくりが必要で

★世界遺産登録を目指す意義は？

- 対象候補遺産が決まりました！(18年6月現在) 鶴岡八幡宮・円覚寺・若宮大路・和賀江嶋・名越切通・覚園寺ほか20件が決定。
- バツファゾーン(緩衝地帯)は文化遺産の環境や景観を守るために、その周囲に設けられる一定の制限のある区域のことです。古都保存法の指定されている鎌倉地域ほぼ全域を予定しています。これまで行政指導に頼ってきた若宮大路周辺の市街地や北鎌倉駅周辺については景観法や高度地区などで高さ・色彩基準を定める方針です。
- 19年度末に市は登録準備を終えて国の推薦にねるといふスケジュールの中で、市民周知の低さを指摘しました。各団体等と呼びかけ、7月中旬に市民と一体となった(仮称)推進協議会を発足する予定。

意見 古都鎌倉が実感できるまちづくりを

世界遺産登録の意義は神社や史跡の保全だけではないはず。市民はもつと目に見えぬ形で、古都鎌倉が実感できるまちづくりを期待しています。「風格を保った鎌倉らしいまちづくり」になっているでしょうか。小町通りは近年、乱雑な看板や店構えが目立ちます。電柱地中化を進めています。美しい景観

づくりに住む人、働く人の理解と協力が不可欠です。

意見 玄関口はもてなしの心のデザインで

駅前から御成小学校までを歩いて楽しい、美しい歩行空間にするためにはどうしたらよいか。駅舎の改築や共同ビル建設、広場の創設、今小路通りの歩道拡幅などがまちの課題解決のための事業に止まることなく、まち全体としてのデザインを行っていくことが21世紀のまちづくりには欠かせないと考えます。

バスを降りたら、広場の木陰や季節感あふれるオープンカフェで一休み。どこにでもあるようなビルではなく、鎌倉らしい趣のある建物を眺め、草花の咲く遊歩道を通って、図書館に行く。そんな西口のプロムナードができれば楽しそうです。美しさ、人を引き付けるデザインの演出を考えていきたいものです。

京都市では今年度「新・都デザイン」を募集します。鎌倉の都市デザインを公募するのもおもしろいと思います。住む人、働く人、訪れる人が守り育てたいと考える都市空間のイメージを共有していくことが鎌倉に求められているはず。「景観10年、風景100年、風土1000年」。戦後60年間、スクラップ&ビルドを繰り返してきた反省を踏まえて、次世代に引き継ぐ鎌倉の宝をストックしていきましょう！

★鎌倉駅西口周辺整備が始まります

～公衆トイレ・ミニバス乗り場・観光案内所がない～

- 玄関口に相応しいまちづくり事業の柱は駅前広場や歩道の整備と民間による駅前建物共同化です。市民参画組織とともに協議を重ねながら、平成20年度着工を目指しています。駅前の混雑を解消し、市民も訪れる人もゆつたりと過ごせる駅前広場を検討しています。現在の時計台広場近くの民間駐車場用地なども含めて、スペースを約3倍に広げる予定です。
- 江ノ電の電車待ちの混雑に対処するため、券売機の増設を鉄道事業者に要望しました。駅舎改築も視野に入れた計画の中で、公衆トイレと駐輪場(現在空き待ちは200人)、観光案内所の整備を提案しました。
- 市役所前交差点から御成小学校前、福祉センター入口まで(今小路通り)の歩道を拡幅し、交番脇から幅3mの緑豊かな遊歩道を御成小学校まで整備していきます。これに伴い、車道の拡幅も行なっていく予定です。

【連絡先】 早稲田夕季 後援会 ～あなたの声をお聞かせ下さい！～

〒248-0005 鎌倉市雪ノ下2-12-10 TEL&FAX 0467-24-9371

ホームページ: <http://www.geocities.jp/yjhx208> メールアドレス: yjhx208@ybb.ne.jp



★景観を育むローカルルールの制定を！

- ◆高さ制限をするため → 高度地区
風致地区、第1種低層住居専用地域では高さ制限が定められているが、その他の地域には建物の高さ制限がない。平成19年度中に高度地区指定を進める方針。
- ◆斜面地に平地より高いマンションが建ってしまう
→斜面地マンション規制条例(建築基準法50条、52条5項に基づく)。斜面地を利用した合法的な高層マンション建設の制限を検討中。地下室の規制だけでも今年度中の制定を視野に入れている。
- ◆若宮大路沿道を中心とした鎌倉駅周辺の市街地
→景観地区(高さ15m以下、色を制限)

意見 身近な地区ごとのルール、まちづくりのコーディネーターが求められています

日頃から地域の住民がどんなまちにしたいか関心を持って、地区レベルのまちづくり、景観づくりのルールを進めることが必要です。市の景観条例に基づいた地区ごとの景観ルールを定めているのは、鎌倉芸術館周辺や由比ガ浜通りなど4カ所。その他にも様々なまちづくり手法を用いてルールづくりに取り組んでいる地区がたくさんあります。より効果的なまちづくりを展開するために、建築の専門家に地域プランナーとしての活躍に期待をしています。住民や事業者に対して、景観づくりの重要性を説明し理解を深められるような地域プランナーの育成が求められています。



- 白百合学園小・中・高校、早稲田大学法学部卒業
- 日本輸出入銀行・地元ミニコミ紙記者・自宅で学習指導
- 早稲田大学鎌倉校友会・鎌倉日仏協会・鎌倉同人会
鎌倉ホームヘルプ協会ベルの会・鎌倉風致保存会
逗子鎌倉の中世遺産を考える会・カトリック雪ノ下教会に所属

●昨年12月定例会で要望した「遊べる公園・憩える公園」が今年度予算化され、市民参画で企画づくりを進めています。公園用地は材木座4丁目の約1,000㎡。国からの補助金を活用して、市負担1億1,800万円で購入します。次世代に残す大きな買物だけに、知恵を出し合って安全で楽しい憩いの場となるように応援していきたいと思えます。

●不登校の子どもたちの居場所づくりについて、これまで一般質問等で取り組んできました。長年の懸案であったフリースペースが7月、由比ガ浜にオープンしました。2人の訪問相談員が相談にあたり、一人ひとりに合った支援の方法を検討します。フリースペース「ゆい」では、それぞれの専門知識を持ったボランティアの協力を得て、その子に適する体験に基づいた居場所づくりを進めています。

教育センター相談室まで(月～金の9時～17時)・24・3495(3386)

●2年目を迎えた民主党鎌倉市議会議員団は、助川邦男議員が退団され6人体制になりました。代表は岡田和則議員から山田直人議員へバトンタッチ。

最近、子どもたちが犯罪の被害者、あるいは加害者になる事件が頻発しています。いったい、この国はどうなってしまったのでしょうか。20年ほど前、アメリカから幼児・児童への虐待、子どもたちによる犯罪のニュースなどが流れてきたころには対岸の火事のように感じられましたが、いつのまにか、日本がそうした悲しい事件のニュースの発信源になってしまいました。が、嘆いてばかりはいられません。子どもたちを犯罪から守るために私たちにできることをしていかなければなりません。

いま、私の住んでいる植木周辺でも、昼間自宅にいますお母さんたちや退職された方々による防犯活動が活発です。黄色いベストを着用して通学路の辻々に立ったり、地域を巡回されている姿に接すると頭が下がる思いです。市内の各地域には、同じような活動をされている方々がたくさんいらっしゃいます。

子どもたちを犯罪から守るために地域で協力し合うことは、とても有意義で効果的なことだと思います。

いっぽう子どもが犯罪の加害者になってしまうケースでは、親との、あるいは友達との人間関係がうまくいかず、かといつて悩みを相談できる相手もなく、心が八方ふさがりになってしまったあげくに凶悪な犯罪を引き起こしてしまう事例がみられます。おとなからみればほんのささやかなことが、子どもにとっては生死にかかわるような重大な悩みに思

犯罪から子どもたちを守れ！

民主党

2007年神奈川県議会議員選挙(鎌倉市)公認候補予定者に決定



民主党神奈川県第4区総支部副代表

ひとり
深田 独

1960年2月3日生まれ(46歳)
鎌倉市西御門育ち、植木在住

1986年 慶應義塾大学大学院
文学研究科修士課程修了

えてしまうことがあります。そんなとき、家庭や学校以外でいろいろな人と出会ったり、自然や芸術作品と触れ合うことにより、ふさがっていた心が開かれれば、案外自分の悩みが小さなものであることに気づいたりするものです。そうした意味では、鎌倉青年会議所と有志のみなさんによる鎌倉寺子屋事業は、子どもたちにパーソナルではないさまざまな現実の体験の場を提供する地域力を活用したすばらしい取り組みだと思えます。

神奈川県では松沢成文知事が、治安回復を最重要政策のひとつにかかげ、空き交番をなくし、犯罪検挙率を上げるために警察官一五〇〇人増員にむけ奮闘しています。が、警察官の定数については国が決定権をもっていることが大きな障壁となっています。県民が望んでも県独自に警察官の人数を増やすことさえできません。これが中央集権的な日本の現状なのです。

政治がなすべきことは、地域のみなさんが力を発揮しやすい社会環境を整備していくことだと考えます。そして、ほんとうに地域住民が望むまちづくりをしていくためには、国から地方自治体への権限と財源の移譲を進めて、市民が主役の「分権国家・日本」をつくらなければなりません。

深田 独は、市民のみなさんと一緒に、鎌倉から、神奈川から、日本を変えていくために全力を尽くして参ります。